質問１．観光推進施策と地域経営

□観光地域づくり法人（ＤＭＯ）の必要性？

- ◆ ＤＭＯ＝地域の多様な関係者を巻き込みつつ科学的アプローチを取り入れた、観光地域づくりを行う　かじ取り役となる法人

- ◆ 「鴨川観光プラットフォーム株式会社」千葉県内３件目の登録ＤＭＯとして認可

質問２．職員の人材育成と組織運営

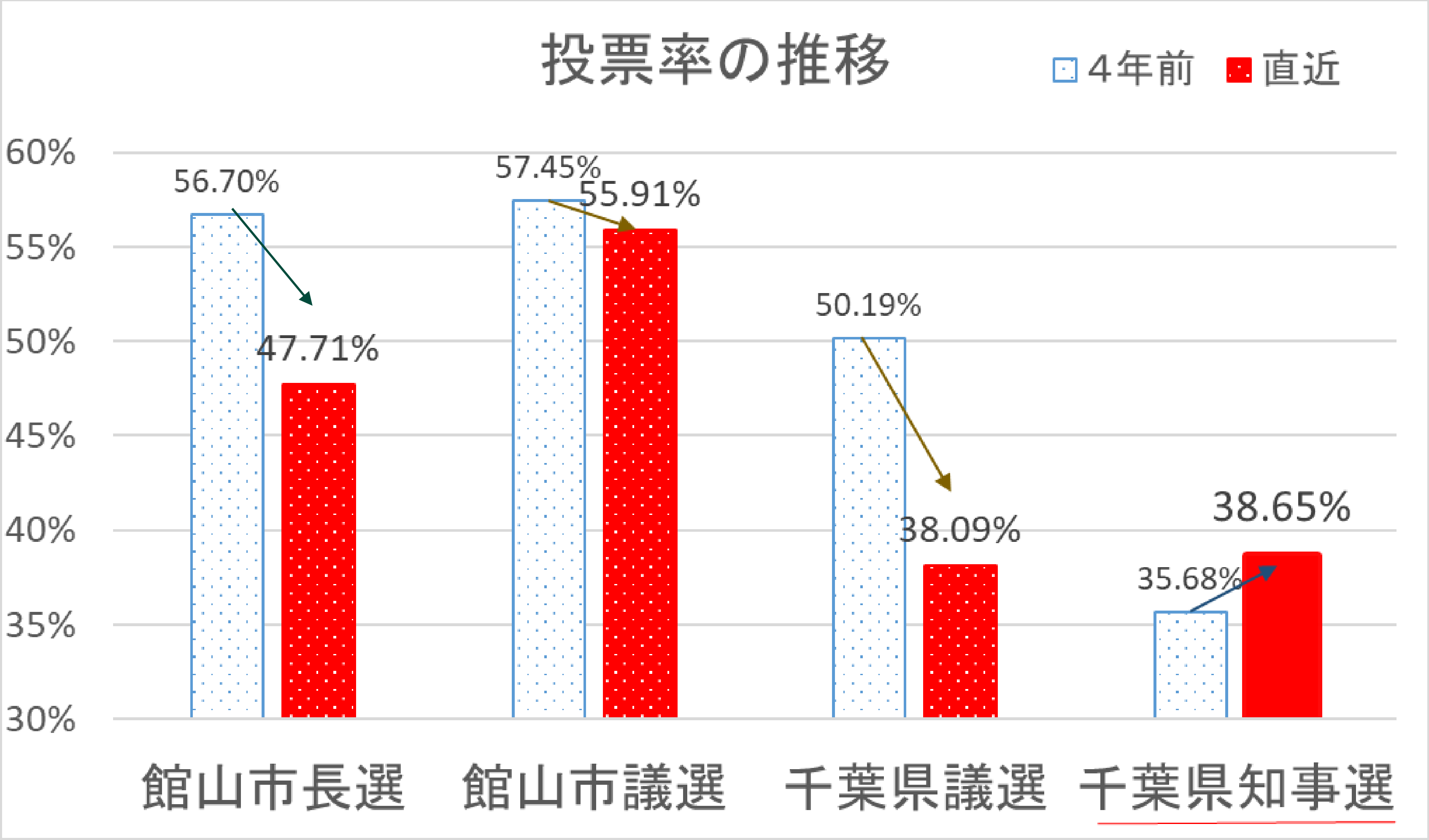
1. 市職員の人材育成の課題は？

- ◆ H30「人的資源有効活用調査」
- ◆ H31 第６期「館山市定員適正化計画」
- ◆ R2「人材育成基本方針」改定

2. ４月の部課長人事は例外的か？

- ◆ ８名の部長のうち７名が新任、４名が課長兼任

質問３．投票率向上に向けた取組



地域経営と観光戦略　（３月講演会）

- 観光は、雇用を作り出し外部からお金を稼ぐ地域経済の柱である

- **地域経営**の観点から観光を考えることで住民の幸せや社会の豊かさにつなげる

藻谷浩介・山田桂一郎　共著「観光立国の正体」

館山市の経営状態は？

少子・高齢化による経済の衰退（2010-2020年）

- 人口：▲3, 958人減　　（49, 290人⇒45, 332人）
- 消費額：▲約66億円減　（１人当り消費額約169万円で計算）
- 高齢者：＋2, 835人増（15, 475人⇒22, 405人）

⇒社会保障関連費用の増大

観光産業はなぜ重要なのか？

【観光は地域を豊かにするための手段である】

1. 域外から“外貨”を獲得する
2. 経済の波及効果が大きい【総合産業】

“地域経営”の視点で、様々な産業事業者が参画し、住民が主体的に活動することが重要

観光振興における「観光」とは・・・

1. <u>地域の魅力を高め、</u>
   - *地域の中の魅力を発見し、活用し、創造する*
2. <u>人をひきつけ、</u>
   - *魅力を的確に表現、積極的な情報発信*
3. <u>所得を確保すること</u>
   - ***雇用と所得の持続的・安定的な確保***

館山市の“観光振興”の課題

1. 観光で「稼ぐ」視点が欠けている
2. 広域で取り組む必要性
3. 市の関係部署が多岐にわたる
4. 関係者が集まって協議する場がない

気仙沼の事例（データの重要性）

1. <u>クルーカードでデータ収集・分析</u>
   - 意外な消費動向：年代や居住地、購入内容を分析
2. <u>アンケートでニーズ調査</u>
3. <u>商品開発</u>・・・観光客のニーズに合うもの
4. <u>情報発信</u>・・・より効果的に
5. <u>結果検証</u>・・・12月の利用者２倍、+3, 600万円

＊シティプロモーション　とは

地域資源に磨きをかけ、
市の新たな魅力を創出するとともに、
市内外へ情報発信し、
知名度とイメージの向上を図ることで、
交流人口の増加や
市民の「地域への誇りと愛着心」の醸成
につなげることを目的とした活動。

４月の職員人事異動

■総合政策部長（新任）・・・企画課長事務取扱

■危機管理部長（新設・新任）・市民協働課長事務取扱

■総務部長　　　（新任）

■健康福祉部長

■経済観光部長（新任）・・・食のまちづくり推進課長事務取扱

■建設環境部長（新任）・・・下水道課長事務取扱

■教育部長　　　（新任）

■議会事務局長（新任）